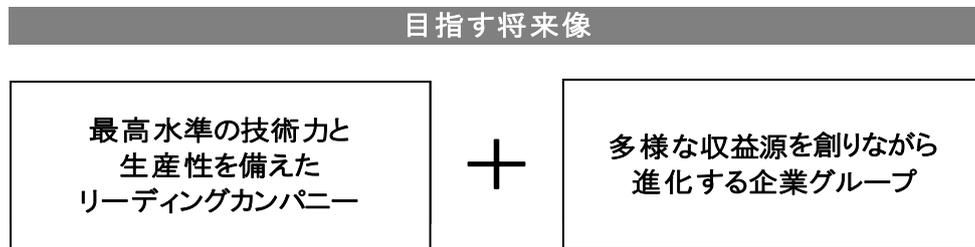


2 「目指す将来像」の概要

当社グループの長期的な成長に向けて、創業 150 周年（2042 年）の「目指す将来像」を次のとおり定めました。

既存 4 本柱（建築・土木・開発・新領域）の強化を戦略の核に事業領域の深化・拡大、グローバル化を加速し、その実現を目指します。



大林組グループは
「ゼネコン」の枠にとらわれることなく成長を続け
事業環境の変化にしなやかに適応しながら
全てのステークホルダーの期待に応える
企業グループへと進化していきます

3 「中期経営計画 2017」の概要

(1) 基本方針

ア 強固な経営基盤の構築

大林組グループの総力をあげて、過去最高益にある現在の業績を維持・拡大させ、機会を捉えた成長投資や想定外の事業環境の変動に対応できる強固な経営基盤を構築します。

イ 将来への布石

事業領域の深化・拡大及びグローバル化を実行するための技術の開発・獲得、人材の育成、新たなビジネスモデルの創出とこれらを支える戦略的な投資を実施します。

(2) 主な経営指標目標

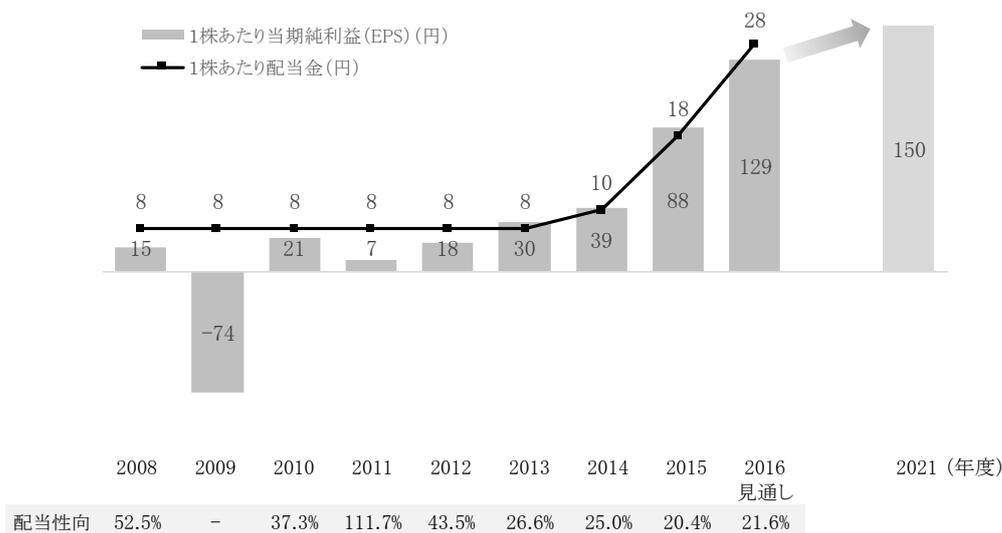
2021年度末 B/S (連結)	
自己資本額	9,000億円
利益剰余金	7,000億円
自己資本比率	40%
ネット有利子負債	ゼロ
有利子負債	2,500億円
現預金	2,500億円

2021年度 P/L (連結)	
売上高	2兆円程度
営業利益	1,500億円程度
親会社株主に帰属する当期純利益	1,000億円程度
1株あたり当期純利益 (EPS)	150円程度
自己資本当期純利益率 (ROE)	10%超の水準

(3) 株主還元策

連結配当性向 **20~30%**の範囲を目安として、長期にわたり安定した配当を維持することを第一に、財務体質の一層の改善や将来に備えた技術開発、設備投資等を図るための内部留保の充実に努めるうえ、自己株式取得も含め、業績に応じた利益還元を実施します。

< 1株あたり当期純利益（EPS）と1株あたり配当金の推移 >



(4) 投資計画

目指す将来像の実現に向けた「布石」として5年間で**4,000億円**の投資を行います。

■「最高水準の技術力と生産性を備えたリーディングカンパニー」であり続けるための継続的な投資

建設技術の研究開発	1,000億円
工事機械・事業用施設	500億円

■「多様な収益源を創りながら進化する企業グループ」の実現に向けた投資

不動産賃貸事業	1,000億円
再生可能エネルギー事業ほか	1,000億円

■機会を捉えた成長投資

M&Aほか	500億円
-------	-------

5年間の総投資額	4,000億円
----------	---------

以上

大林組グループ「中期経営計画2017」の詳細は、当社ウェブサイトに掲載しております。

URL	http://www.obayashi.co.jp/ir/medium_term_plan
掲載日	平成29年3月24日